

さくらちゃんの「教えてドクター」



麻酔科 浜谷和雄先生に聞きました！

ペインクリニックについて



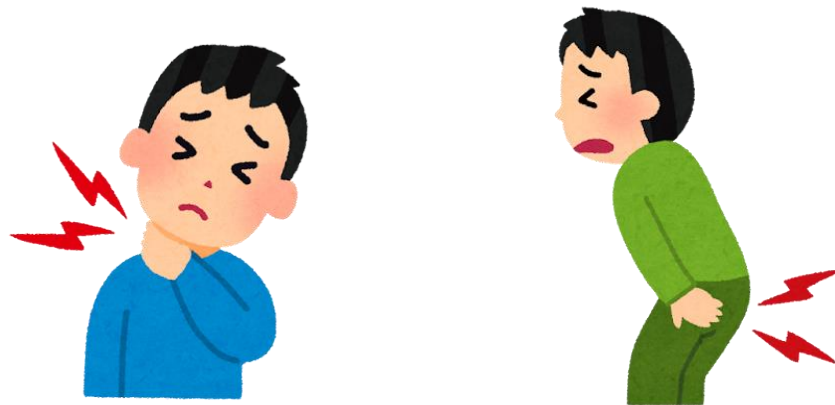
1. ペインクリニックとは何ですか？

痛みの専門的な診断・治療を行う診療科です。当院では、薬物療法、物理療法や運動療法による保存的治療の効果が不十分なときや、手術の適応とならない、あるいは手術を望まない患者様に神経ブロックを行い、痛みを軽減します。



2. どんなときに行くべきですか？

腰や下肢の痛みを伴う椎間板ヘルニアや圧迫骨折、脊柱管狭窄症、帯状疱疹痛、帯状疱疹後神経痛、首や肩の痛み、などが主な対象になります。



- 整形外科関連:
 - 腰痛症、ぎっくり腰
 - 腰や首の椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症
 - 五十肩、変形性関節症（肩や膝など）
 - むち打ち症、頸椎症

- 神経系の痛み:

- 頭痛（片頭痛、緊張型頭痛など）
- 帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛
- 三叉神経痛
- 顔面神経麻痺、突発性難聴
- 手足のしびれ、坐骨神経痛

- その他の痛み:

- がん性疼痛
- 手術後の創部痛
- 四肢の血行障害

3. 神経ブロック注射の副作用はありますか？

神経ブロック注射の副作用には、感染、出血などがあります。また、使用する局所麻酔薬による一時的なめまい、吐き気、血圧低下、眠気、筋力低下などが起こることもありますが、通常は時間が経てば回復します。重篤な副作用は稀ですが、麻酔によるアレルギー反応の可能性がある場合は、事前に医師に伝えることが重要です。



4. 神経ブロック注射はどのくらい持続しますか？

ブロック注射の効果は患者さん一人ひとりの状況によって違い、数時間～数ヶ月と個人差があります。これは軽症と重症の場合や、治療開始までが早いか遅いかによって異なります。一般的には軽症で治療開始までが早いと、注射の効果は長く、少ない回数で済むことが多いです。



5. 治療にはどれくらいの期間がかかりますか？

ブロック注射の効果が出る回数は、痛みの原因や重症度によって異なり、数回で済む場合もあれば、何十回と必要になる場合もあります。

一般的には週に 1 回程度で 2～7 回が目安となります。

最初は週 1 回の頻度で、痛みの悪循環を断ち切るために、複数回の治療を続けることが効果的です。効果を見ながら、専門医と相談して治療ペースを調整していきます。

回数と効果の目安

・初期段階（最初の数回）：

1 回だけでは十分な効果がないことが多く、繰り返し行うことで効果が期待できます。

特に最初のうちは間隔を詰めて治療することが推奨されます。

・数回で改善する場合：

急性の痛みや、痛みの原因が「循環不全」などの場合は、比較的少ない回数で改善する場合があります。

・長期的な治療が必要な場合：

慢性痛など、痛みが長引いている場合は、脳や脊髄が痛みを記憶しているため、繰り返し治療することで、脳の痛みの記憶を弱めるようにします。

・5 回程度で効果が見られない場合：

3 回から 5 回程度治療しても効果が不十分な場合は、痛みの原因が別の場所にある可能性があり、治療方針の変更や、別の種類のブロック注射を検討することがあります。

6. ブロック注射だけで神経痛や腰痛は治りますか？

ブロック注射は神経痛や腰痛を治すものではありませんが、痛みの原因となっている神経の興奮を抑え、筋肉の緊張が和らぎ、血行が改善されます。これにより根本的な痛みの緩和につながる可能性があります。また、痛みが軽減されることで、運動制限が改善し、筋力トレーニングなどのリハビリテーションに取り組みやすくなり、結果的に神経痛や腰痛が改善に向かうケースが多くあります。



注意点

- ブロック注射だけで全てが解決するわけではない：坐骨神経痛などの場合、原因が複雑であったり症状が重度化していたりすると、注射だけでは不十分な場合があります。
- 専門医との相談が不可欠：効果や今後の治療方針については、必ず専門医に相談し、適切な診断と治療を受ける必要があります。

